

CELERY

2020 January
No.114
[セロリ]



栄養科学部
フード・マネジメント
学科1年
内田 悠士郎さん

栄養科学部
フード・マネジメント
学科1年
竹内 優騎さん

栄養科学部
フード・マネジメント
学科2年
坂本 愛鈴さん

栄養科学部
フード・マネジメント学科2年
岸岡 愛奈さん

栄養科学部
フード・マネジメント
学科2年
亀山 理子さん

栄養科学部
フード・マネジメント学科1年
北川 天忠さん

特集

教師という夢に向かって ～教員採用試験合格者インタビュー～

[旬のひと]

「食品ロスの問題に取り組みたい！」
フード美同好会の活動とは？

[GO!GO!PICKLES]

「海外留学・研修の体験、聞かせて！」



フード・マネジメント学科の1・2年生を中心としたフード美同好会のメンバーたち。

「食品ロスの問題に取り組みたい！」 フード美同好会の活動とは？

設立からまだ1年も経っていないという『フード美同好会』では、学生たちが「食品ロス」の問題に取り組んでいます。詳しい活動内容や今後の目標について話を聞きました。

豊かな現代社会の問題のひとつとして、最近取り上げられることの多い「食品ロス」。「食」について学ぶフード・マネジメント学科の一員として、この問題に取り組んでいるのが設立してからまだ1年も経っていないという期待の新同好会「フード美同好会」です。

設立のきっかけは、フードバンクの基金活動や取り組みに協力するためだったそうですが、集まったメンバーたちは積極的に活動を展開。食品ロスをテーマにしたかるたや紙芝居をオリジナルで制作し、地域の公民館で小学生対象の「子ども食育かるた大会」を開催するなど、学生ならではの視点や工夫で、食品ロスやフードバンクに対する理解の輪を広げています。

「私たちもまだまだ知らないことが多い。まずは自分たちが勉強するところから」と話す



食品ロスをテーマにしたかるたは、子どもたちにも大好評でした。

のは、部長を務める岸岡愛奈さん。大学内でも食品ロスやフードバンクをきちんと知っている人は少なく、フード・マネジメント学科だけでなく、他の学科からもメンバーを集め、まずは大学内で食べ残しをなくしていく運動ができればと語ります。

目標は子ども食堂を開催すること。ひとり親家庭の増加など、子どもを取り巻く食環境に深刻な問題が起こっている今、自分たちができることは何かを日々探りながら活動しています。



自分たちで制作した紙芝居を子どもたちに披露。

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌 [セロリ]

CELERY

No.114 | 2020.1.28発行 |



02 | [食にまつわるトリビア]
フィットケミカル
栄養科学部 栄養学科 沖 智之教授

03 | [特集]
教師という夢に向かって
～教員採用試験合格者インタビュー～

07 | [卒業生インタビュー]
先輩に会いたい!
社会福祉法人唐津市社会福祉協議会 下尾 由美さん

08 | [クラブ&サークル]
児童文化部

09 | 霜月祭 /
NAKAMURAファーマーズマーケット
開催報告

11 | [ナカムラの知の源]
キャリア開発学科 岩田 京子教授

13 | [GO!GO!PICKLES]
「海外留学・研修の体験、聞かせて!」

15 | NEWS&TOPICS

食にまつわるトリビア

trivia

テーマ

フィトケミカル

教えてくれたのは



栄養科学部 栄養科学科
沖智之 教授

Profile

1999年九州大学大学院農学研究科博士課程修了、博士(農学)を取得。国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センターで、主に紫サツマイモや黒大豆の成分分析や機能性評価に従事。2018年4月より現職。授業では「食品の加工と栄養」「食品機能・官能評価」などを担当。専門は食品分析学、食品機能学。

A. Q.

最近注目されている『フィトケミカル』とは？

直訳すると「植物性化学物質」植物に含まれたさまざまな成分の総称です。

最近、ニュースなどでもよく耳にするようになった『フィトケミカル』という言葉。これは、ギリシア語で植物を意味する『phyto(フィト)』と化学物質を意味する『chemical(ケミカル)』という言葉が合体したもので、直訳すると『植物性化学物質』のこと。植物が紫外線や昆虫など、自分にとって有害なものからからだを守るために作りだされた色素や辛み、渋み、香りなどの成分を指します。

このフィトケミカルが話題になってきている理由は、人のからだの健康維持や増進に役立つから。人がからだのために必ず摂取しなくてはならない必須栄養素ではなく、非栄養素ではありますが、例えば免疫力のアップにつながったり、骨を強くする役割をもっていたり、と効果はさまざま。毎日の暮らしに積極的に取り入れるたい物質です。

Q. 『フィトケミカル』の摂取により、どんな効果が期待できますか？



A. フィトケミカルは数千種類以上！機能も効果もさまざまです。

フィトケミカルはひとつの野菜や果物に複数存在していることもあり、その種類はなんと数千種類以上。ひとつのフィトケミカルが複数の機能をもっていることもあるので、自分のからだに合ったもの、健康に必要なものを選びましょう。フィトケミカルは大きく3つの種類に分けられますが、フラボノイドの中でよく知られているのは、ブルーベリーやブドウの皮に含まれているアントシアニンでしょう。また、カロテノイドの中だとトマトのリコピンも有名ですが、どちらも私たちの健康に役立つさまざまな機能・効果をもっています。

A. Q.

『フィトケミカル』を多く含む食品は何ですか？

色が濃い野菜や果物、辛みや渋みが強い野菜や果物に多いのが特徴です。

植物が自分を外敵から守るために生まれた物質なので、基本的には色が濃いもの、辛みや渋みがあるものなどに多く含まれています。また、最近ではより多くのフィトケミカルを効果的に摂取できるよう、リコピンが多く含まれた高リコピントマトなどの開発も盛んです。その他、フィトケミカルを活用した機能性表示食品も多く登場しているので、スーパーなどで食品のパッケージに注目してみてください。



	種類	含まれる食品
フラボノイド (ポリフェノール)	アントシアニン類	ブルーベリー、ブドウ
	イソフラボン類	大豆
	フラボン類	セロリ、パセリ、ピーマン
	カテキン類	緑茶、果実類、カカオ
	フラボノール類	ブロッコリー、タマネギ
カロテノイド	フラバノン類	柑橘類の果皮
	α-カロテン	ニンジン、カボチャ
	β-カロテン	ニンジン、モロヘイヤ
	β-クリプトキサンチン	ミカン、柿
	リコピン	トマト、スイカ
含硫化合物	ルテイン	ホウレンソウ、ブロッコリー
	ゼアキサンチン	カボチャ、トウモロコシ、モモ
	イソチオシアネート系	ダイコン、ワサビ
	システインスルホキシド系	ニンニク、ニラ

色が鮮やかな野菜や果物には多くのフィトケミカルが含まれています。毎日の暮らしに取り入れて、健康に役立てましょう。

特集 | INTERVIEW

教師という 夢に向かって

夢までとどけ 1.2.3!

教員採用試験合格者 インタビュー

本学では教員採用試験において、毎年多くの合格者を輩出しています。今年もたくさんの学生が、夢を叶えました。教育学部から小学校教諭や特別支援学校教諭、そして、栄養科学部からも栄養教諭や家庭科教諭に合格した学生たちに、合格までの道のりと現在の意気込みなどについて話を聞きました。

昔から子どもが好きで、小・中学生のときは幼稚園か保育園の先生になりたいと思っていました。でもその後、職業について詳しく調べ小学校の教員について深く知ることができると、どんどん興味が湧いていきました。小学校は6年間ありますが、1年生と6年生では大きく違います。小学校の教員は、その成長過程をいっしょに過ごすことができる。そこに大きな魅力を感じています。

春からいよいよ教員としての日々がスタートしますが、一番の楽しみは自分のクラスをもつことです。教育実習でひとつのクラスを担当し、一人ひとりの子どもにすばらしい個性があることに気づき、とても楽しい1カ月を過ごすことができました。現在、アルバイトをしている学童保育でも、子どもたちはみんなそれぞれに個性をもっています。でも、その個性を伸ばせるかどうかは教員次第。子どもたちのどんな個性もプラスに変え、伸ばしていける先生になれたらと思います。

子どもたちの大切な個性を伸ばせる先生になりたい



教育学部
児童幼児教育学科4年
飯田 大悟さん
福岡西陵高等学校出身

採用試験の合格に向けた

丁寧なサポートに感謝

中学まで団地に住んでいたのですが、周囲には小さな子どもがいっぱい。昔から子どもが好きで、いっしょに遊ぶのが楽しくて仕方ありませんでした。本格的に教員をめざそうと決めたのは高校2年生のとき。本学の教育学部に決めたのは、教員採用試験の合格率の高さと、先生との距離感が他大学よりも近いと感じたことでした。入学するとまさにその通りで、教員採用試験合格に向けての支援はとても手厚く、また、縦のつながりも横

もいろいろなことを教わりました。このように恵まれた環境の中で勉強することができたので、4年間一度もブレることなく試験に向けて努力を続けることができたのだと思います。

子どもたちだけでなく、保護者や地域の方、同僚の先生方と上手くやっていけるだろうか、という不安は多少ありますが、子どもたちが夢や希望をもち、自己表現をしていけるクラスをつくっていくのが目標です。

大分県
小学校教諭
合格



挑戦



教育学部
児童幼児教育学科4年
安部 将彦さん
大分高等学校出身

熊本県
小学校教諭
合格



努力



教育学部
児童幼児教育学科4年
竹本 知紘さん
小林高等学校出身

一人ひとりの子どもたちに

寄り添っていききたい

小学校の教員をめざすようになったきっかけは、自分自身が小学生のときにすばらしい先生と出会ったから。私が失敗しても「失敗は宝物だよ。失敗した人にしか見られない世界がある」と常に背中を押してくれた素敵な先生でした。その後、中学や高校でも先生との良い出会いに恵まれ、具体的に教員をめざすことに。専門教科だけを教えるのではなく、一人ひとりの子どもたちとより深く関わっていきたくて、小学校の教員になることを決意しました。

春から憧れだった教員になりました。今の目標は子どもたちに寄り添っていける先生になること。そして、子どもたちのためにできることを探していけたらと考えています。私はずっと駅伝をしていたので、時には先導し、時には伴走し、時には後走する、そんな先生になることが理想です。子どもたちを導きながらも、いっしょに成長したり、後ろからやさしく見守ることが出来る先生をめざします。

福岡県
特別支援
学校教諭
合格



笑



教育学部
児童幼児教育学科4年
住谷 優衣さん
嘉穂東高等学校出身

“中学校の同級生がきっかけ ずっと夢見ていた職業に”

中学校の時に障がいをもつ子が同じ学年にいて、その子と関わっていきうちに、障がいのある子や困っている子の教育に携わることができた、と考えるようになりまし。その後、特別支援学校の存在を知ってからは、「私にはこの道しかない」と強く感じるようになりまし。

教育学部は小学校教諭になるためのカリキュラム構成が基本となっていて、特別支援学校で学生サポーターをしたり、大学の発達支援センターでお手伝いをす

るなど、障がいをもつ子たちとふれ合える機会はたくさんあります。特別支援学校の実習は採用試験の後なので、「合格はしたけど、やっぱり私には無理だと思ってしまったらどうしよう」という不安もあったのですが、事前に子どもたちとふれ合ってきた経験を生かすことができ、実習はとても充実した時間になりました。将来は、子どもの成長やちょっとした変化にも気づき、子どもたちといっしょに喜び合うことのできる先生になりたいと思います。

2020年度 小学校教諭、特別支援学校教諭 採用試験合格状況

2020年度教員採用試験において、教育学部から多数の学生が合格しました。

受験者数135名中

現役
合格者

実数**86名合格**

自治体別合格者数

自治体	合格者数
福岡県	47名
福岡市	9名
北九州市	4名
佐賀県	13名
長崎県	3名
熊本県	3名
熊本市	1名
大分県	1名
宮崎県	1名
山口県	3名
横浜市	1名
計	86名

※合格者には特別支援学校教諭を含みます。
※卒業生も多数合格しています。

＼中村ならではの！／

「児童教育燦倫会」で 卒業生・在学生在が交流

「児童教育燦倫会」とは中村学園大学教育学部(前身である家政学部児童学科、人間発達学部を含む)の卒業生と在在生そして教職員が研鑽しあい、交流を持つ会です。毎年、総会および研修会が開催されており、学びの場となっています。令和元年11月23日に第23回総会・研修会が開催され、本学卒業生の朝倉市立福田小学校校長の酒見博文先生、福岡市立飯倉小学校の川崎雄真先生による講話がありました。また現役教員の卒業生、在在生の混合グループ研修では、「教師として大切にしていること」「これから現場で求められる教師像」をテーマに、交流や意見交換が行われました。卒業生に学校現場の様子や体験談などをお話いただき、小学校教員を目指す在在生にとって有意義な時間となりました。



参加した在在生のコメント

岩橋梨紗さん(教育学部4年)

「新任の心構えや子どもだけでなく保護者や同僚との関わりなど、とても参考になりました。中村の出身者やゼミの先輩とのつながりを持ち、不安なことを共有できる有意義な会なので、卒業後も参加したいです。」

宮崎県
栄養教諭合格



食育

栄養科学部
栄養科学科4年
吉浪 亜実さん

宮崎日本大学高等学校出身

“素材の魅力と食べる楽しさを
子どもたちに伝えたい”

祖父母が農家だったので、子どもの頃から田んぼや畑がとても身近にあり、スナック菓子ではなく、食べ物の素材の味で育ち、小学生のときにはすでに食に対して深い興味をもっていました。

はじめは、教職課程は選択肢が広がるという理由で履修したのですが、学んでいくうちに教員のおもしろさや魅力を感じるようになったこと、実体験を通して、子どもたちに食べる楽しさを伝えられるのではないかと感じました。好き嫌いが多い子どもでも、食べ物が育っていく過程などを話すと興味をもってくれて、意外と食べられるようになります。子どもたちの食行動に変化を与えられるような先生になりたいです。

佐賀県
家庭科教諭合格



進



栄養科学部
栄養科学科4年
田代 帆乃香さん

伊万里高等学校出身

“管理栄養士資格を生かした
家庭科教諭をめざしたい”

栄養教諭か家庭科教諭か：はまだ決めていなかったのですが、料理に関する分野で教員になりたいと考えていたので、両方の免許が取得できる本学の栄養科学部に入学しました。

私は何にでもすぐに興味をもつタイプで好きなこともいっぱい。将来の夢も絞り込めずにいました。家庭科は、被服や料理、保育や高齢者の福祉に住居など、幅広い分野があり、人々の生活を豊かにする知識や技術を教えることができます。そこに、私は大きな魅力を感じたのです。管理栄養士資格と栄養教諭免許を併せ持つ家庭科教諭として、授業と連携させた上で食育を進めることができる強みを生かし、食生活の自立をはじめとするすべての生活を豊かに彩りながら、中学生の生活的自立をしっかりとサポートできる先生になりたいと思います。

2020年度 栄養教諭、家庭科教諭 採用試験合格状況

2020年度教員採用試験において、栄養科学部栄養科学科から、栄養教諭4名・中学校家庭科教諭4名・高等学校家庭科教諭1名、現役合格しました。

自治体別合格者数

栄養教諭		中学校家庭科教諭	
自治体	合格者数	自治体	合格者数
福岡市	1名	福岡県	1名
北九州市	1名	福岡市	2名
大分県	1名	佐賀県	1名
宮崎県	1名	高等学校家庭科教諭	
		福岡県	1名

※卒業生も多数合格しています。

合格者数の推移

	栄養教諭	中学校家庭科教諭	高等学校家庭科教諭
2020年度	4名	4名	1名
2019年度	4名	1名	1名
2018年度	9名	—	—
2017年度	7名	—	2名
2016年度	4名	—	—

卒業生インタビュー

先輩に 会いたい

さまざまな現場で活躍する
中村の卒業生をインタビュー！
先輩たちの“今”を
紹介します。

OB・OG
interview
vol.18

地元・唐津で楽しそうに
いきいきと働く下尾由美さん。
短大では幼児保育を学んだ
下尾さんが、地域の福祉を
支える職場で感じる
やりがいや魅力について
お話を伺いました。

interviewee

下尾 由美さん

Yumi Shimoo

平成29年(2017)年卒業
短期大学部 幼児保育学科
勤務先: 社会福祉法人
唐津市社会福祉協議会



努力は実ることを 実感した短大時代

以前より子供が好きだったこともあり、高校生の頃に参加した地元幼稚園での研修がきっかけで、保育士や幼稚園教諭を目指そうと思いました。進学先を迷っていた時、通っていた高校に推薦枠があることを知り、「資格を取るなら中村が良いよ」という身近な人々からの勧めもあって中村学園大学短期大学部へ進学しました。私はピアノが全く弾けなくて、朝から晩まで、時間があればピアノの練習室で猛特訓の日々。それに勉強、実習と忙しく大変でしたが、同じ目標を持つ友達がいながら頑張れました。あの時の経験が「努力すれば何でもできる！」という自信にもつながりましたし、何事にも積極的にチャレンジできる力が身についたと思っています。



現在は地域の福祉施設や法人の会計業務を担当。相手先によって内容も異なるため、先輩方からのアドバイスは勉強になります。

地域の福祉現場を支える やりがいのある仕事



仕事はパソコン業務がメインですが、会計と言っても相手先とのやりとりも多く、担当施設によっては実際に訪問することもあります。

就職は地元へのUターン希望で、保育園や幼稚園の事務職を探していたところ、就職担当の職員の方に唐津市社会福祉協議会を紹介していただきました。唐津市の地域の福祉事業を推進していく団体で、最初に配属された児童福祉課では、市内にある児童センターの管理運営を担当。学生時代に学んだ保育現場とは異なり、運営に関する業務は覚えることが多く大変でしたが、興味深かったですね。社会福祉協議会の仕事は、高齢者福祉や災害ボランティアなど幅広く、地域との繋がりが深いので、社会福祉に広く貢献できる仕事なんだとやりがいも感じています。今は、少しでも早く専門的な知識を身につけ、職場の戦力となれるよう積極的に仕事に取り組んでいきたいと思っています。

児童文化部

(パネルシアタークラブ PEC・ペク)

パネルシアターを中心に地域の中で活動。
子どもに大人気の『児童文化部』を紹介します。



地域の子どもたちとの

ふれ合いを通して

自分も成長できる

子どもたちの笑顔に
出会うことができる



児童文化部の魅力は、なんとと言ってもたくさんの子どもたちと実際に触れ合えること。一年を通してさまざまな地域のイベントに参加し、たくさんの子どもたちと楽しいひとときを過ごしています。

「例えば、教育学部の児童幼児教育学科に所属していても、実習に行くまではこれだけたくさんの子どもたちとふれ合う機会には恵まれません。幼稚園や保育園、小学校の先生をめざす人にとっては実践的に学ぶことのできる貴重な場だと思えます。もちろん、将来のことなど関係なく、子どもが好きという人には本当におすすめです」と部長を務める教育学部児童幼児教育学科3年の高浪友貴さん。普段の授業で学ぶことができないパネルシアターや手遊びなど、児童文化部で実践を通し



霜月祭では、絵本『カレー地獄旅行』を題材にした、運動遊び・ふれ合い遊びがいっぱいのパネルシアターを上演。子どもたちの笑顔が溢れていました。



9月に城南市民センターで行われた『のびのび夢ひろば城南』に参加。地域の子どもたちがたくさん参加し、いっしょに制作活動を楽しみました。いつもさまざまな地域のイベントに積極的に参加しています。

て保育技術を学べることは大きいと言います。

地域の子どもたちに大人気の児童文化部ですが、活動のモットーは「親子で楽しめる」こと。「子どもとの遊び方がわからない」というお母さんやお父さんにも遊び方を伝え、情報を発信することで、親子の笑顔が溢れる地域づくりの一翼を担っています。

館内イベント

館内では、各サークルがさまざまなイベントを開催。体育館サブフロアでは、子どもたちとふれあうコーナーが設けられ、学生と地域の子もたが楽しく遊ぶ姿が見られました。

選ばれてうれしい!

練習の成果を
発揮できました!

ミスキャンバスコンテスト

アコースティックギター同好会

軽音楽部LIVE

子どもとふれ合う
貴重な時間でした

のびのびひろば

なかむらアドベンチャー

第53回

霜月祭

11/2_[土]・3_[日・祝] 開催

令和最初の霜月祭のテーマは、『Change～新たな挑戦～』。

例年3日間開催していた霜月祭ですが、今年は見どころをギュッと2日間に凝縮しての開催に。学生だけでなく、小さな子どもからご年配の方まで、地域のみなさんもたくさん訪れてくださり、賑やかな2日間となりました。

模擬店

各サークルやゼミによる「フードバザー」は今年も大盛況! 「食の中村」ならではのおいしさを提供しました。

書道部

今年もたくさんの
作品が並びました!

カンボジアボランティア

毎年大好評の
カレーです♡

薬膳食育ボランティア部

東京
パラリンピック種目
“ボッチャ”を体験して
もらいました!

わいわいボッチャ



11/3(日・祝)
霜月祭同時開催!

NAKAMURA ファーマーズ マーケット

今年の霜月祭は、
『NAKAMURAファーマーズマーケット』を
同時開催!

九州各地からさまざまな店舗が出店し、
買い物を楽しむ大勢の方で賑わいました。

また、子どもたちがおつかいに挑戦する

『おつかいプロジェクト』などのワークショップも大好評。

「つくる人」と「食べる人」をつなぐ、有意義なひとときとなりました。

この取り組みは、令和元年度農林水産省農山漁村振興交付金(地域活性化対策)事業の一環で行っています。



ステージイベント

グラウンドおよび
体育館のステージでは、
毎年恒例のダンスコンテストや
ミスキャンパスを決めるNコンが。
地域のみなさんによる
「地域パフォーマンス」も
大いに盛り上がりました。



ダンスコンテスト



和太鼓部 釋来響楽座



地域パフォーマンス

地域の
キッズたちが
大活躍

幼児保育学科の学生が運営！
子どもたちの成長を実感できる
おつかいプロジェクト



子どもたちも
楽しんで
くれました♡

はじめての
おつかいに挑戦する
子どもたちの真剣な
表情が印象的でした!

レシピの
提案が好評!



地域産品を使った健康な食を考える
きっかけづくりに

赤ちゃんからお年寄りまで
健康的なレシピを提案
福岡県産品メニューの
パネル展示

展示

書道部や華道部の華やかな展示も
霜月祭に見どころのひとつ。
多くの方が作品の前で足を止め、
学生たちの力作に見入っていました。

地域産品や産地の魅力を
伝える取り組みを
流通科学部の
学生たちも参加!



地域の食育や
食べ物への興味を促す
イベントや展示を実施

みんなで力を
合わせて
つくりました



素敵な作品に
みんな釘付け!



華道部



ナカムラの 知の源

Nakamura Source of knowledge

世界中の多様な人々と異文化を
受容することのできる
人間になってほしい。

短期大学部

キャリア開発学科

岩田 京子 教授

キャリア開発学科の学科主任であり、

国際交流委員会の委員長も務める岩田京子教授に、
国際交流・地域交流についてお話を伺いました。

先生の

研究・教育活動について

教えてください

では学生の留学先もバラエティに富んだものになっているのが特徴です。

キャリア開発学科に関わらず、中村学園大学および短期大学部では、数年前から国際交流に特に力を入れており、海外への協定校への留学支援、学術交流を進めています。そのため、普段の授業でも英検・TOEIC対策に力を入れるなど、一人ひとりの学生の語学力や海外への興味を引き上げる指導をしています。

国際交流協定校は年々増加しており、現在はアメリカ合衆国9校、中国9校、大韓民国8校、台湾4校など11カ国38校に広がっています。その広がりに合わせて、最近

どんな留学プログラムを
実施していますか？

中村学園大学および短期大学部では、学生たちの留学を応援す

私は国際交流委員会の委員長を務めています。ここ数年、国際交流に関するさまざまな取り組みを積極的に行ってきたことが功を奏し、海外留学にチャレンジする学生の数が飛躍的に伸びているのがうれしいですね。4、5年前は年間55名程度だったのに対し、現在では年間140名以上の学生が留学や海外研修に飛び立っています。



▲2019年度に協定を締結したフィンランドのトゥルク応用科学大学との調印式

るためにさまざまなプログラムを用意しています。まず、学部での単位修得および実践活動を目指した「NHALプログラム」（1年間留学）があります。「海外留学スカラシップ」制度は、休学せずに半年～1年間の留学をすることが出来ます。どちらも本学の協定校への留学ですので、学生も安心して学業や活動に集中できます。また、海外に興味のある学生のファーストステップに最適な韓国や台湾などアジアでの研修もあるので、少しずつステップアップしながらチャレンジすることも可能です。

留学から帰ってきた学生たちは皆、たくましくなっています。若い学生たちはさまざまなことを吸収する力が優れているので、海外に行くとき大きなものを得るでしょう。だからこそ、留学するのなら若いうちが良いのです。

グローバル・ローカル関係なく、大切なのは積極的に“交流”すること。キャンパスの中で学ぶだけでなく、広い世界に飛び出して外でも思いっきり学んでほしい。

キャンパス内でも、学生の語学力を伸ばす学習環境の整備を進めています。英語、中国語、韓国語のネイティブスピーカーと学生との交流ができる「語学カフェ」「ぐるーぱる広場」の開催もその例です。将来的にはより多くの留学生を迎え、さらに国際交流を活性化にしたいと思っています。

**今後の目標について
教えてください**

ここは大学ですので、まずはキャンパスの中で思いっきり学んでもらうことが一番ですが、そ



▲ゼミ活動として、団地の高齢者と交流する多世代交流イベントを実施。お散歩や体操など、学生のアイデアが活かされます。



▲協定校の学生との交流や体験プログラムがあり、初めての海外でも気軽に参加できる協定校短期研修。

れだけでなく、大学の外にも飛び出して多くのことを得てほしいというのが私の願いです。その「外」というのは何も海外だけではなくありません。グローバルに活動することを学生たちに勧めたいのですが、同時に実践してほしいのが地域（ローカル）での活動です。キャリア開発学科の学生たちには、在学中に1度は地域の活動

に参加する経験をするよう指導しています。例えば、UR荒江団地の集会所で団地住民を対象としたイベント『消しゴムはんこで年賀状！大作戦2020』を開催して子どもや年配の方と交流を楽しんだり、「博多町屋ふるさと館」や櫛田神社などでのボランティアガイドをする「おもてなし研修」を通して、おもてなしの心を育む活動など、学生主体の地域貢献・交流活動を推進しています。

地域交流イベントではさまざまな世代の方とふれ合うことができます、というのが大きな魅力です。多様な人々と出会い学ぶことは、人間関係や学びの原点。主体的、積極的にたくさんの人や文化とふれ合い、それらを受容できる人材、そして、将来地域の力になれる人材を育成していきたいと考えています。

Profile

岩田 京子 教授 Kyoko Iwata

早稲田大学教育学部卒業、ペンシルベニア州立大学修士課程、九州大学人間環境学府博士課程修了。博士(教育学)。福岡県内の短期大学勤務を経て、平成15年中村学園大学短期大学部に着任。平成19年度より家政経済科(現、キャリア開発学科)。平成28年度より国際交流委員長。前職と合わせて短大教員歴は24年。遅々として進まない断捨離が目下の悩み。

インタビューを担当したPICKLESメンバー

インタビューの中で、「仕事内容にこだわって就職するのではなく、海外旅行にたくさん行くために仕事をしたい」という言葉が印象的で、自分にはない考えを聞いて勉強になりました!



流通科学部流通科学科3年
日野 都香沙さん
(朝倉高等学校出身)

私も今年、台湾協定校研修に参加し、海外に興味を持ちました! 色々な経験談を聞き、良い刺激になりました!



流通科学部流通科学科2年
宮崎 理恵子さん
(福岡女子高等学校出身)



Go!Go! Pickles

海外留学・研修の 体験、聞かせて!

海外での留学や研修を通じて
貴重で魅力的な体験を重ねる学生たち。
海外での勉強や生活について
5人の学生にインタビューしました。



中国語ゼロからの留学

留学先に中国を選んだ理由は、アルバイトでの経験がきっかけです。私はアルバイトでホテルのベルボーイをしていたのですが、英語なら今まで学んできた知識で対応できますが、中国語しか話せないお客さまには身振り手振りでしか対応できませんでした。今まで中国に触れたことがなかったため、どんなところなのかという好奇心から行くことを決めました。流通科学部スカラーシップ制度は、休学しないで留学できること、自分の評定ランクにより大学から奨学金を得られることなどのメリットがあります。

留学時は、平日の午前中は語学学校に通い、それ以外の時間は自由に過ごしました。自由時間では、大学の日本語サークルの中国人学生たちに日本語を教えたり、留学生サッカー選抜大会に参加して3位になったり、日系企業のインターンに参加したり...と、さまざまな体験ができました。

中国はキャッシュレス決済が進んでいたため、財布を持ち歩かない生活に慣れるまでが大変でしたが、帰国後は逆に財布の中に現金を入れ忘れ、「スマホの中にならお金があるのに...」という状況に何度も陥っています。

これから就職活動に専念しますが、留学での経験を生かして悔いの残らないような大学生活を過ごしたいです。



スピーキングの授業で発表している様子



11カ国の留学生でチームを組み、サッカー大会に出場!



流通科学部流通科学科4年
北島 敬章さん (龍谷高等学校出身)

流通科学部海外留学
スカラーシップ制度 **大学主催**
(奨学金あり)

中国 5カ月間

海外に行くなら早うちに!

大学入学後、海外の食に関して興味を持ち、「早いうちから海外に行きたい」という思いから、さっそく1年生の夏休みに海外研修に参加しました。

研修先のデラウェア大学では、授業中の会話が英語のみだったため苦労しましたが、レベルごとにクラスが分けられ、丁寧な指導を受けられたおかげで勉強の意欲がアップしました。

滞在時での思い出は、ホストファミリーと過ごした日々です。初めて会ったときに海外の食に興味があることを伝えると、アメリカの食生活をたくさん教えてくれました。また、植物園や公園に連れて行ってくれたり、ホームパーティーやBBQを開催してくれたり、テレビでスポーツ観戦をしたり...と、アメリカの生活をたくさん体験させてもらい、とても感謝しています。

この研修を通し、栄養・語学の大切さ、日本と海外の食事・文化の違いを知ること、幅広い知識や情報を持つこと、自分の意見を持つことの大切さなどを学ぶことができ、大学生活の早い時期に行って良かったと感じています。今後はより栄養について専門性を深めていくことを最優先に、英語の勉強も続け、目標であるTOEICにも挑戦したいと思っています。



ホストマザーと一緒に植物園を散策



ホストファミリーが催した友人の誕生日会にも参加



栄養科学部栄養科学科1年
田中 生真さん (光陵高等学校出身)

夏季海外研修

大学主催
(奨学金なし)

アメリカ 23日間



栄養科学部フード・マネジメント学科3年
井手 乃梨子さん
(中村学園女子高等学校出身)

**ダブルディグリー
留学プログラム** **大学主催**
(奨学金あり)

アメリカ(ハワイ) 1年間

刺激的だったハワイ生活

私はフード・マネジメント学科のダブルディグリー留学プログラムの第1期生として、アメリカ合衆国ハワイ州にあるハワイ大学カピオラニ校(KCC)で調理と英語のクラスを受講しました。調理のクラスを受講する予定だったので前もって調理用語を覚えて渡米したのですが、実際にクラスが始まると、日本で学んだ調理用語はほんの一部であることがわかりました。他の調理用語や英会話の流れなどは、授業中はもちろん授業外でも、現地の方の会話に耳を傾けていくうちに、自然と習得していきました。

ハワイではインターンシップにも参加しました。225時間の長い期間インターンシップに参加することで日本との働き方の違いなどを学びました。

インターン先では従業員を大切にしているオーナーさんのもとで、KCCで培った英語力と調理の知識・技術をアウトプットすることができました。

留学生活で文化や調理の違いを多く知り、たくさんの刺激を受けました。実際に行ってみないと分からないことが多く大変なこともありましたが、現地の方々のおかげで充実した留学生活をおくることができました。もし留学に悩んでいるならば、学生のうちにどんどん飛び立って、若いうちに長期での滞在を経験することをお勧めします!



調理の授業でチームを組んだクラスメートと



友だちとワイキキビーチにて



帰国後も続くうれしい交流

きっかけは高校時代にバスケットボールの試合で海外チームと対戦したこと。海外選手のプレースタイルや監督にも意見する高校生と交流したのがきっかけで、日本との文化の違いを感じ、海外への興味を持ちはじめました。

入学後も「大学在学中に海外に行きたい」、「国際交流がしたい」という思いを持ち続け、そうした中、福岡県人会の派遣プログラムの存在を知りました。県人会が留学費用を一部負担してくれる代わりに、青年育成リーダーとして、県人会のイベントのお手伝いをしたり、日本に留学している県人会メンバーのサポートをしたりして国際交流をしています。

メキシコ派遣時は県人会の方と交流したり、日系企業や日本大使館、世界遺産を訪問しました。メキシコ在住の福岡県人会の方に現在の福岡について話をしたことで、福岡への郷土愛に気づけたのも良かったです。

現地で交流したメキシコ人がその後福岡に留学しており、今でも交流は続いています。メキシコ人は明るく陽気で、相手も自分も尊重するからこそお互いのペースを尊重する気質には、文化の違いを感じます。将来の夢はまだ定まっていませんが、自分のやりたいことを見つけるための経験の1つとして貴重な時間となりました。



世界遺産テオティワカンからの景色



ホストファミリーとlos pinos
(大統領官邸)を見学



教育学部児童幼児教育学科2年
安庭 希海さん(熊本国府高等学校出身)

**海外福岡県人会
青年派遣プログラム** **派遣**

メキシコ 11日間

人生観を変える貴重な経験に

1年生の春休みに、オーストラリアでの春季海外研修に参加しました。そこで出会ったホストマザーは政府機関で働きながらたくさんの国を訪れていて、彼女と過ごした日々や体験談から、「私もいろいろな国を見たい」、「海外にたくさん行けるよう、福利厚生が充実した会社に就職したい」という考えを持つようになりました。2年生になってから就職活動に集中し、幸運にも内定をいただいたので、夏休みに3週間、私費でマルタに短期留学をしました。ヨーロッパ地域に興味があり自分で調べていたのですが、大学の学生部の方を通じて、マルタに留学経験のある先輩の話を聞き、魅力的だと思ったからです。マルタはイタリア南部の地中海に浮かぶ小さな島国で、とても美しい国です。

マルタではシェアハウスに滞在し、平日の午前中は語学学校で勉強、平日の午後や土日は現地で出来た友達とビーチやボバイ・ビレッジ、世界遺産などさまざまなところへ出かけました。来年からは社会人になりますが、これからもいろいろな国に行きたいと考えています。



職業観の影響を受けたオーストラリアの
ホストマザーと



美しい観光地のマルタにて



キャリア開発学科2年
波多江 真優さん
(福岡講倫館高等学校出身)

春季海外研修 **大学主催**
(奨学金なし)

オーストラリア 23日間

語学留学 **私費**

マルタ 約3週間

藤本淳前学長 瑞宝中綬章受章

2019年秋の叙勲において、本学の藤本淳顧問が瑞宝中綬章を受章されました。藤本顧問は、2002年11月から3期9年の長きにわたり学長を務められ、大学教育の発展に尽くしてこられました。また、解剖学研究に尽力された功績が評価され、受章となりました。



「食育館」が第3回「健康な食事・食環境」 認証制度3つ星を取得

本学の学生食堂「食育館」が、「健康な食事・食環境」コンソーシアムが主催する第3回「健康な食事・食環境」認証制度の給食部門において、最高ランクである3つ星の認証を受けました。この制度は、日本栄養改善学会・日本給食経営管理学会・日本高血圧学会・日本糖尿病学会などの複数の学協会が構成される「健康な食事・食環境」コンソーシアムが、バランスの良い健康な食事「スマートミール」を提供する飲食店や事業所を認証する制度です。食育館では、認証を受け、ランチメ

世界パラ陸上競技選手権大会 大学院生西村貴子さんが サポートスタッフとして帯同

11月7日～15日、「ドバイ2019世界パラ陸上競技選手権大会」が開催され、本学大学院 栄養科学研究科博士後期課程に所属する西村貴子さんが、暑熱対策サポートメンバーとして、選手団に帯同しました。

西村さんは、公認スポーツ栄養士であり、日本パラリンピック委員会における医・科学・情報サポート事業栄養領域スタッフとして障がい者アスリートへのサポートを実践しています。

メニューとして通常の「二汁三菜」とともに「スマートミール」も提供しています。コンソーシアムが定めるスマートミールの基準に基づいたメニューが展開されています。



オーストラリア スウィンバン工科大学と 学術交流協定を締結

中村学園大学・中村学園大学短期大学部は、11月5日付けでオーストラリア スウィンバン工科大学 (Swinburne University of Technology) と「学術交流協定」を締結しました。本学における海外大学との提携は38校目となります。

スウィンバン工科大学は、2020年3月に開催する春季海外研修の派遣先となります。20名以上の学生が研修を申し込み、約3週間現地に言語学習、アクティビティ、現地学生との交流等を行う予定です。



スウィンバン工科大学のキャンパス

高大接続イベント 「国際交流ハロウィンパーティー」が開催されました

10月25日、本学にて高大接続イベント「国際交流ハロウィンパーティー」が開催されました。

中村学園女子高等学校の生徒・留学生、YMCA七隈校の留学生など日本、アメリカ、オーストラリア、インドネシア、ブルネイなど12か国から30名がハロウィンの仮装をして参加しました。

グループに分かれて、自己紹介のアイズブレイクからスタートし、カードゲーム (Picture) や伝言ゲームをしました。イベントは全て英語で行われました。



た。知っている単語でジェスチャーを交えながら、楽しく交流を深めることができました。



「マーケティング戦略立案コンテスト」EDGE」2019」 流通科学部 奈良田さん、志岐さんが決勝プレゼンで第3位に

11月13日、「マーケティング戦略立案コンテスト」EDGE」2019」(主催・株式会社マクロミル)決勝プレゼン大会が東京で開催され、流通科学部3年の奈良田梨紗さん、志岐菜々さん(手嶋ゼミ)の2名が参加しました。

このコンテストは、協賛企業6社の実際のビジネス課題をテーマとし、協賛企業からビジネス課題に関連するデータを学生に提供され、学生はそのデータを基に解決策を立案・プレゼンするコンテストです。全国から215チーム、計939名がエントリーし、18チームが決勝プレゼン大会に進み、各企業の審査員の評価により優勝チーム、2位、3位が決定します。

流通科学部3年の奈良田さんと志岐



奈良田梨紗さん(左)と志岐菜々さん(右)



決勝プレゼン大会の様子



質疑応答に笑顔で答える場面も

さんは2名でエントリーし、見事、セブ&アイ・ホールディングス部門で第3位となりました。2人は約3ヶ月かけて提供されたデータと自主調査によるデータを組み合わせて立案し、書類審査を通過後、企業の方からのアドバイスを受け、企画をブラッシュアップし決勝プレゼンに臨みました。

企業の方の前でプレゼンする貴重な機会となり、「決勝まで残ると思ってもいざ始まりましたが、すべては挑戦することから始まるということを学びました」他大学生のプレゼンやアイデア、柔軟な考え方に刺激を受けました」と話してくれました。今後は、この経験を活かして、ゼミ活動の商品開発に取り組みむ予定です。

「ふくおかの食で健康」メニュー 食育館で提供

本学では、福岡県農林水産部と連携し「ふくおかの食で健康」推進運動に取り組んでいます。

この取り組みは、旬の福岡県産食材を使った、食べて美味しい健康メニューを作成し普及啓発することで、県民の食生活改善に資するとともに県産農林水産物の消費拡大を図ることを目的としています。

11月25日、本取り組みの一環として、「食育館」にて開発メニューの中の、「これから家庭を持ち、親になる世代向け」をテーマとしたメニューが提供されました。学生や教職員、一般の方々も、食育館の掲

示やチラシなどをみて興味を持ち、注文している様子でした。実際にこのメニューを食べた学生は、身体にも良さそうな食材が並んでいたと選んだ、と話していました。



- 献立
- ① 麦入り黒米ごはん
 - ② はかた一番どりの竜田揚げ
 - ③ 小松菜とこんにゃくのきんぴら
 - ④ きゅうりとえのきの酢の物
 - ⑤ 豆苗と春雨のスープ

第5回ハラルセミナー開催

11月30日、「第5回ハラルセミナー」が開催され、「ハラルの科学と食の多様性に向けて」をテーマに、基調講演、実践報告、事例報告などが行われました。今回で5回目となるハラルセ



静岡県立大学国際関係学部
特任教授 富沢壽勇氏

ミナーは、本学のプロジェクト研究として複数の学問系統の教員が参加し、それぞれの領域からハラルに関する課題が共

有されています。基調講演では、静岡県立大学国際関係学部富沢壽勇特任教授より、具体的に食品・医薬品・化粧品・衣料品・物流などの分野に及ぶ様々なハラル製品の提示とともに、グローバル化時代におけるハラルサイエンスの役割について解説されました。実践報告では、春日市立春日西小学校栄養教諭の深田恭代先生より、小学校給食を通しての異文化理解についての取り組みが紹介されました。また、ロイヤル株式会社、株式会社ミラクルソイゲルト、株式会社ヨシムラの3社より、ハラル製品開発の取り組み事例が紹介され、商品の試食も実施されました。

外部資金等の受け入れ状況

研究助成金

[研究者] 手嶋 恵美(流通科学部 准教授)
 [研究助成機関] 公益財団法人
 [助成内容] 吉田学術教育振興会
 教育振興助成金特別助成
 現物贈呈(高齢者疑似体験教材工
 キスパートセットⅢ)

受託研究

[研究者] 中野 修治(栄養科学部 教授)
 [研究課題名] 結節性硬化症に伴う腎血管筋脂
 肪腫に対して医療費適正化を目指
 した凍結療法的安全性と有効性の
 検討
 [委託者] 日本医療研究機構AMED医療
 機器開発推進研究事業
 [研究期間] 2019年10月25日～2020年3月31日
 [交付予定額] 1,832,220円

学校法人中村専修学園
 創立70周年記念祝賀会を開催

11月20日、ホテル日航福岡にて、本学
 の姉妹法人である学校法人中村専修学
 園(中村調理製菓専門学校、中村国際ホ
 テル専門学校)が創立70周年を記念した
 祝賀会を執り行いました。

学園関係者、在学生、卒業生
 など、約300名の方が出席
 し、盛大に開催されました。
 中村ハル先生が1949年
 に中村割烹女学院を設立
 されてから現在までの歴
 史の紹介、4回にわたる校
 舎移転の変遷など、これま
 での歩みを参加者とともに
 振り返りました。また、調
 理、製菓、ホテルを専門と
 する学校らしく、学生も当



日のサービスを一部担当し、参加者に
 教育を感じていただく機会にもなりま
 した。

フード・マネジメント学科一学期
 HACCP管理者資格97名認定
 初級食品表示診断士63名合格

フード・マネジメント学科では、食産業
 界への就職活動において強みとなる、食品
 関連の資格取得を強力にサポートしてい
 ます。一学期(在籍学生数124名※1)は
 HACCP管理者資格、食品表示検定に
 おいて、多数の合格者を輩出しました。

HACCP管理者資格 97名認定

HACCP管理者資格※2とは、改正され
 た食品衛生法で定められたHACCP
 に沿った衛生管理の制度化において、
 HACCPシステムの相当程度の知識を
 もつと認められる者に認定されます。大
 学等において、学会が定める食品衛生学
 等の科学的・専門的な知識を得るための
 基礎科目の単位取得(24単位以上)、学会
 主催の3日間のHACCPワークショップ

受講の2段階認定によって審査に合格し
 た者が認定されます。
 食品表示診断士※3
 初級63名、中級16名合格

食品表示検定とは、食品表示に関する
 知識や理解度を測る検定試験です。選択
 科目『食品表示の実務』では、実務的な観
 点から食品表示を解説し、正しい理解と
 知識の習得とともに、同検定の受験対策
 も行っています。一学期は、初級食品表示
 診断士に63名、中級食品表示診断士に
 16名が合格しました。また、第20回検定
 試験(2019年11月17日実施)におい
 て、本学フード・マネジメント学科は、初
 級合格者数団体全国第1位の好結果と
 なりました。

中村学園大学短期大学部
 同窓会奨学金奨学生証交付式

11月5日、中村学園大学短期大学部同窓会奨学金
 の奨学生証交付式が行われました。

この奨学金制度は、本学短期大学部に在籍する学
 生のうち、学業・人物とも優秀で、同窓会の目的・活
 動に賛同する者を対象としており、今年度はエント
 リー12名中6名の学生が奨学生に選ばれました。
 交付式では、平山同窓会長から学生一人ひとり
 に奨学生証が手渡され、お祝いの言葉が述べられ
 ました。



※1在籍者数は2020年1月現在、※2一般社団法人日本食品保蔵科学会認定資格、
 ※3一般社団法人食品表示検定協会認定資格

WEBやSNSにて情報発信中!

公式ホームページ
http://www.nakamura-u.ac.jp/



公式Facebook



公式Twitter



福岡県「ジュニアアスリート応援事業」 公認スポーツ栄養士による料理教室を開催

本学園では、福岡県農林水産部と連携し「ふくおかのお食で健康メニュー」を活用した食育・地産地消の推進と、小中高生の健全な食生活の形成と栄養についての正しい知識の習得を目的として、スポーツに取り組み子供達とその保護者を対象とした料理教室を開催いたしました。

11月23日には福津市にあるスポーツクラブに通う子供達と保護者の方々、12月14日には中村学園女子高等学校部活動生と保護者の方々を対象として実施し、大盛況のうちに終わりました。

第一部では、公認スポーツ栄養士濱田綾子氏よりスポーツに取り組み思

教職員の出版物

著者は、本学教員のみ記載
※肩書き等は発行日現在のもの

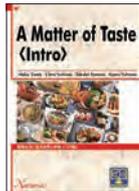
『臨床医学 人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち (健康・栄養科学シリーズ)』

河手 久弥
栄養科学部 教授 編著
(南江堂 2019年10月)



『健康生活に見る 食育と栄養(入門編)』

津田 晶子
栄養科学部 准教授 共著
大和 孝子
栄養科学部 教授 共著
(南雲堂 2019年10月)



『21世紀の現代社会 福祉用語辞典-第2版』

益田 仁 教育学部 講師 共著
(学文社 2019年7月)



『最新 保育士養成講座 第1巻 保育原理』

那須 信樹
教育学部 教授 共著
(全国社会福祉協議会
2019年9月)



『保育学用語辞典』

那須 信樹
教育学部 教授 共著
(中央法規出版 2019年12月)



春期に「何を、どのように、どのくらい食べたらいいか」等の解説、第2部は野菜ソムリエプロの西川昌代氏より「もっと知ろう!福岡の食」と題して福岡県で生産される果物や野菜の紹介が行われました。第3部では、実際に「ふくおかのお食で健康メニュー」の調理体験を行い、最後は参加者のみなさんで試食をいたしました。

参加者の方々は「アスリートの私たちに必要な栄養素や食材、量などを知ることができた」「これからもスポーツを続けていきたいので、学んだ知識を生かしていきたい」「調理も簡単で、お母さんにも作ってあげたい」といった感想が寄せられました。



2020年東京オリンピックの開催により、スポーツ人口の増加が予測されます。運動やスポーツ等の身体活動量の多い人に対して、栄養や食事面からパフォーマンスを向上させサポートしていく取り組みの充実が期待されます。

キャンパス ライフ、 2人前。



中村調理製菓専門学校 夜間コース

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 在学生対象ダブルスクール

「調理師
免許取得」で
広がる
就職の幅

最短
1年6カ月

■募集学科および定員

募集学科	修業年限	入学時期	募集定員	願書受付期間
調理師科 夜間コース	1年6ヶ月 (最短)	2020年4月	40名	2020年1月20日(月)~2月17日(月)
		2020年10月	80名	2020年7月17日(金)~8月3日(月)

■選考方法

中村学園大学・中村学園大学短期大学部の在校生については入学試験は免除いたします。

■受験料 なし

出願書類提出先 中村学園大学 学生部
(パンフレット・入学願書も設置しています)

問合せ 092-851-2593

学校見学会 開催!

1月31日(金) 18:30~
2月17日(月) 18:30~
3月3日(火) 18:30~
QRコードより申込フォームにて
お申込みください。



REAL NAKAMURA 授業体験DAY

あなたの
未来が
ココにある。



Spring 2020
3.14[sat] 10:00~15:00
[9:30受付スタート]

事前予約が必要な授業があります。
2月3日(月)HPにて公開。

詳しくは
「チラシ」



LINE 友達登録
してね!

ナカムラ公式LINE
@nakamura-u

SNSの利用に関しては、
所属高校の指導に
従ってください。



中村学園大学
中村学園大学短期大学部

お問い合わせ先

入試広報部 / 〒814-0198 福岡市城南区別府 5-7-1
[TEL] 092-851-2634 (直通)
[E-mail] kouhou@nakamura-u.ac.jp
[URL] https://www.nakamura-u.ac.jp/

Access

天神 地下鉄七隈線 天神南駅▶別府駅(9分)
バス 天神▶中村大学前(約20分)
博多 バス 博多▶中村大学前(約30分)

※駐車スペースがありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、広報室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。※保護者の方には毎月送付しています。
[申込先] 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1

中村学園大学 入試広報部「広報誌定期購読申込」係

公式
ホームページ



公式
Facebook

